ベトナム南部海上05-1b and 05-1c探鉱鉱区での掘削結果について

出光興産株式会社(社長:中野 和久)の100%子会社である出光オイルアンドガス開発株式会社(社長:辻 行介、オペレーター)、JX 日鉱日石開発株式会社(社長:平井 茂雄)並びに国際石油開発帝石株式会社(社長:北村 俊昭)の100%子会社である帝石コンソン石油株式会社(社長:相岡 雅俊)はベトナム南部海上の05-1b and 05-1c探鉱鉱区で3坑目の坑井を掘削し、ガス・コンデンセート層を確認しました。

05-1b and 05-1c鉱区は、ホーチミン市の南東300kmの海上に位置しており、本坑井は2012年8月から2013年1月にかけて掘削され、2月から4月にかけてフローテストを行った結果、ガスおよびコンデンセートの集積を確認しました。

今後、詳細に埋蔵量の評価・検討を行うとともに、当該鉱区に存在する他の有望構造の評価も併せて進めてまいります。

2004年に3社は当該鉱区に関する生産物分与契約をベトナム国営石油会社(ペトロベトナム)と締結、ベトナム政府より投資ライセンスを取得して、当該鉱区で探鉱活動を行っています。

【鉱区の概要】

鉱区名	05-1b and 05-1c鉱区	
105-1b and 05-1c鉱区権益比率 □	●出光オイルアンドガス開発(株)	35%
	JX日鉱日石開発(株)	35%
	帝石コンソン石油(株)	30%
鉱区面積	934km ²	

以上

お問い合わせ先

出光興産株式会社 広報CSR室広報課TEL:03-3213-3115JX日鉱日石開発株式会社 総務部総務グループTEL:03-6275-5241国際石油開発帝石株式会社 広報グループTEL:03-5572-0233